

別紙 R6 (2024). 3. 2 複合災害時の避難に関する講演会質疑応答

○質問等

※敬称略

- 質問① 市民感情として放射線がゼロでなければならないという感情が強くなるが、ゼロにするのは不可能である。普段からの学習ということで市民のメンタル的な不安を取り除くことをやっていただきたい。田中先生から毎月来ていただいて説明していただければ多少クリアになると思いき要望する。
- 講師 ご要望があればできるだけ努力したい。勉強会をやっていただければありがたい。専門家は私以外にもたくさんいるので、そうしていただきたい。
- 質問② 原子力利用は将来的に有用だと考えるか。
- 講師 日本のエネルギー自給率は世界でも1番低い。輸入がいまだに80%近い。原子力に代わるエネルギーが確保できるのであればいいと思う。国民の中で議論する必要がある。水と食料とエネルギーは、現代社会では国民が生きていくうえで欠かせないもの。これを確保することが国の最大の使命。それを踏まえて定量的に判断していただく必要があると思う。
- 質問③ 以前、南相馬市の桜井市長を招いたフォーラムに参加したが、今日の話の方が安心する話であるが、180度違う。
- 講師 どのように感じられたかは分からないが、事実としてはこういうこと。判断をしてもらうためにデータを出した。
- 質問④ 原子力規制委員会委員長として事業者を規制する立場の後、福島の方々と復興に関わってこられたが、原子力発電への思いは。
- 講師 原子力発電をやめるなら規制はいらないから規制委員会はいらない。福島に行っているのは、福島の住民が直面している問題は大変な問題がある。原子力の是非より違う問題があるので何とかしたい。放射線の不安が非常に大きく、なんとか払拭していただきたいと少しでも貢献できると行って行っている。原子力の是非論は別の視点から議論する必要がある。
- 質問⑤ 老人ホームや病人の方は動かさない方が安全だということは納得できる部分はあるが、乳幼児、妊婦も避難しなくてよいという考えか。避難しなくてよいというのは受け入れがたいのではないか。
- 核燃料サイクルは、今後動くことがあるか。
- 講師 老人や病人は議論して施設対応ということにした。妊婦等は、心情的に被ばくすることを嫌がることは分かる。勉強してもらう以外にない。自分で勉強して納得する以外に誰かに言われて納得する問題ではないと思う。
- 核燃料サイクルは政策の問題。簡単にいかないことは確かで、なかなか核燃料サイクルを確立することはできない。核燃料サイクルやろうという国は先進国では日本だけ。フランスもやめた。そこを踏まえ日本がやろうとしているのはよく理解できない。これは個人の意見。

- 質問⑥ 飯舘村に住んでいるのは、放射線災害があっても地域に住んで復興するべきということをお示しするためか。
- 講師 そういう意味ではない。原子力災害としては最大級だと思う。そのとき被ばくしたレベルは、飯舘村のように1か月後に避難したようなところでも、放射線被ばくによる健康被害は出ていない。ほかのところでも出ていない。そのことを分かってもらわないと福島復興は難しいところがある。チェルノブイリは臨界事故で、制御棒を抜くという人為的に試しにやったオペレーターがいた。炉のタイプも格納容器がきちっとできていない炉で放射能が遠くまで飛び散った。チェルノブイリのような事故を想定する必要はない。
- 質問⑦ 浪江町の死亡率が高いが、放射線量が高かったということで死亡率が高かったのか、関連性を教えてほしい。
- 放射線防護施設のようなものがたくさんあった方がよいとの考えか。
- 講師 浪江町は当初に相当混乱をして色々避難をさせたところが多分に大きいと思う。被ばく線量ということではない。日本人は平均年間5～6ミリシーベルト被ばくをしている。体内にも7,000～8,000ベクレルの放射能を持っている。(事故によって)それにどれくらいプラスされるかということ。そもそも誤差の範囲でしかないの、積極的に下げようというのは簡単なものではない。そういうことに気を使う必要はないと思う。病院とか老人ホームとか弱者のところは安心していられる設備対策をしておいてと言ったのは違う意味で申し上げた。
- 質問⑧ 村上市まで120kmあり、高齢者には厳しいと思う。原子力事故の不安にかられ長距離避難をして、その際に高齢者の方が亡くなることが多いと受け止めた。
- 講師 今の計画が長距離避難を計画しているようであれば、市長にもお願いしたいと思うが、1回見直しをして犠牲者の出ないような計画にしてほしい。
- 質問⑨ どういう状況で放射能が放出されるのか、どういう事故が想定されるのか。
- 講師 放射能が外に出るのは重大事故。福島第一原子力発電所事故は冷却材喪失事故で、チェルノブイリは臨界事故。冷却材喪失事故で、閉じ込め制御が壊れるときに放射能が出る。新規制基準で水素爆発を起こさせないように水素の再結合装置をたくさん原子炉に設置させているので、水素爆発は起こらないと思うが、その前に冷却できなくなる事態をなくそうということになっている。すぐにそういう想定をする必要はない。
- 質問⑩ 屋内退避では換気扇を止めると夏は熱中症の方が怖いと思うが、どのような避難の仕方というお勧めはあるか。豪雪時の場合に気を付けることは。
- 講師 色々なケースがある。放射線被ばくは一過性ではないということ。長い期間で健康に影響が出てくる。3日くらい暑いからといって被ばくで何かなるということではない。そのような状況になれば国の規制委員会が責任を持ってやるべきだと思う。そのときまでは、普段の気持ちでやってもらいたい。雪

も同じだと思う。

質問① 放射能は怖くないから避難する必要がないと言われたが、私には理解できない。

講師 見解が違うと思う。放射能は怖くないとは一言も言っていない。事故のレベルによって大丈夫だと言っている。

質問② 強引な避難により犠牲が出たと聞いたが、あの時点でもっと大きな事故になったかもしれない。とどまることの結果論を当てはめるのはおかしい。屋内にとどまる根拠を示してほしい。

講師 色々な意見があると思うが、自分がそう思われるならそれ以上のことを議論するつもりはない。福島第一原子力発電所事故の現実、実態、経験をお伝えして、踏まえてみんなで議論をしてください、考えてくださいと申し上げている。